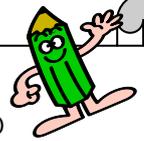




かどっぴー・がわっぴー

# ふれあい

## 門川の子ども一人ひとりに、確かな学力を身に付けさせましょう！



子どもたちが確かな学力を身につけるためには、学校での授業と家庭学習という2つの学習環境づくりが大切です。どちらが欠けても学力として定着しません。前号では「子どもの成長を支え育む “かどがわ4か条”」取り組みについて紹介しましたが、ここでは家庭学習の大切なポイントを紹介します。実は昨年度と同じ内容ですが研究所おススメのものでしつこく掲載させていただきました。



何事も始めが肝心！3日間続けてみましょう！それができたら次は1週間に挑戦！それもできたら1ヶ月に挑戦してみましょう！「アレッ」気付かない内に習慣になりました！

## かどがわ4か条の「第3条 学習している子どもを応援します！」

学校や家庭、地域が協働して（力を合わせて）褒め、叱咤激励していきましょう！

### 家庭学習のやくそく

教育研究所おススメの家庭学習の約束や進め方を参考にして、毎日勉強しましょう。

- ① 学校の宿題は、必ず最初にすませましょう。
- ② 「家庭学習の進め方」にしたがって、勉強しましょう。
- ③ 「家庭学習ノート」を準備して、宅習をしましょう。
- ④ 必ず答え合わせをして、まちがえたところはやり直しましょう。
- ⑤ 勉強したあとは、うちの人に見せて、サインをもらいましょう。
- ⑥ 家庭学習ノートは、次の日、先生に見てもらいましょう。



家で勉強するときには、①から⑥までの順番で勉強しましょう。勉強方法に迷わずに、勉強を続けることができるようになります。

### 勉強時間のやくそく

学校で勉強時間が決まっているときは、それにしたがって勉強しましょう。

小学1・2年	宿題をして、そのあと自分の好きな勉強ができるようになりましょう。	10分～20分以上、勉強しましょう。
小学3・4年	宿題をしたあと、好きな勉強や苦手な勉強ができるようになりましょう。	30分～40分以上、勉強しましょう。
小学5・6年	宿題をしたあと、進んで自分の勉強ができるようになりましょう。	50分～60分以上、勉強しましょう。
中学1・2・3年	学校の課題や自分の課題を考えて、計画的に勉強ができるようになりましょう。	2時間～3時間以上、勉強しましょう。

## 家庭学習の進め方

小学生の学習例をあげてみました。中学生は、出された課題や自分の計画をもとにして勉強しましょう。

- 1 学校からの連絡やプリントなどを、家の人に渡しましょう。
- 2 まず、宿題をしましょう。(できたら、家の人に見てもらいます。)
- 3 自分の考えた宅習をしましょう。(家庭学習ノートを使う)
  - 国語で学習しているところを、声を出して読みます。(2～3回)
  - 国語の勉強をします。  
(教科書やドリル帳を使って、丸つけとやり直しもします。)
  - 算数の勉強をします。  
(教科書やドリル帳を使って、丸つけとやり直しもします。)
  - 社会や理科などの大切な語句や言葉を練習します。  
(教科書や資料を見ながらします。)
- 4 読書をしたり、日記を書いたりしましょう。
- 5 学校に行く準備をしましょう。(学習予定や連絡帳を見て)



毎日の学習の進め方を決めておくと、迷わずに勉強に取りかかることができます。授業の復習を中心に、家庭学習に取り組みましょう。

## 保護者のみなさまへ

## 子どもの家庭学習を応援してください!

### 小学校下学年では

目の届く場所で勉強させ、学習したことを一つ一つチェックしたり、アドバイスしたりします。

### 小学校上学年では

学習していることや学習時間などをチェックし、しっかり家庭学習ができているか確認します。

### 中学校では

機会を見つけて、がんばっていることを認めたり、激励したりするなどの声かけをして、学習意欲を持たせます。

学年や子どもの実態に応じて、家庭学習を応援することが大切です。小学校低学年では、一つ一つに目を通し、点検して、しっかり教えます。学年が進むにしたがって、手を出すことは少なくしていきますが、目と心は離さないようにします。家庭での学力向上は、子どもの勉強の様子を、関心を持って見守り、応援することがポイントです。

### 教育研究所からのメッセージ

《今年度から研究所の指導員が山本逸馬指導員から新名章指導員に引き継がれました。》～ふれあいはこちらまで通り発信してまいりますが、新人ですので皆様に役に立つ情報を提供させられるか心配しております。門川町の学力向上を目指した研究推進と情報提供が第一の仕事ですので粉骨砕身(?)務めてまいります。子ども自身が将来の夢や目標を持ったら確かな学力は自ずと身についていくとも考えられますね。学力は子どもが目指す夢や目標実現に、そして社会で生き抜くために必要かつ十分なものにしてやらなければならないと考えます。

## 子どもの教育や子育てで、悩んでいませんか?

困った時には、教育相談室に気軽に電話をしてください。

相談電話(門川町教育相談室)  
63-1566

~~~~返信欄 (教育研究所便り「ふれあい」へのご意見やご感想をお聞かせください。)~~~~